

特別展示

いにしへの

Ukai the ancient times

鵜飼

2019

1.16 水 - 4.8 月

【休館日】

毎週火曜日

【開館時間】

9:00~17:00 (入館締め切り16:30)

【場 所】

長良川うかいミュージアム 特別展示室

【観覧料】

大人500円 / 小人250円

展示室観覧料に含む

団体大人 400円 小人 200円

※団体は20名様以上

【主 催】

岐阜市長良川鵜飼伝承館

指定管理者 JNFうかいミュージアム

鶺鴒は、古代より日本各地で行われてきました。文献で初めて鶺鴒が紹介されたのは、7世紀初めに成立した中国の史書『隋書倭国伝』です。日本では8世紀初めの『古事記』や『日本書紀』に鶺鴒が登場しています。また、長良川鶺鴒に関わる最初の記述は、大宝2年(702)の御野国各牟郡中里(現在の各務原市那加周辺)の戸籍にある「鶺鴒養部目都良売」です。鶺鴒を営む集団より嫁いだ女性を意味し、この記録から、長良川では1300年以上、鶺鴒が継承されていることが伝えられています。

本展では、長良川鶺鴒の歴史をたどる文献をはじめ、岐阜県初公開となる、群馬県保渡田八幡塚古墳から出土した、鶺鴒の様子を見事に表現した「魚をくわえた鶺鴒の埴輪」や、山梨県外中代遺跡より見つかった、鶺鴒漁を描いたとされる「暗文絵画土器」等を展示。長良川鶺鴒、そして日本の鶺鴒の源流に迫ります。

関連イベントのご案内

第10回市民講座

「王の背後に控える鶺鴒の役割は？」

古墳(前方後円墳等)には、馬、猪、犬などの動物埴輪が樹立されます。中には鳥形埴輪も認められ、「鶺鴒」を表現したと思われる埴輪が存在します。鶺鴒のルーツを考えながら、鶺鴒形埴輪を古墳に樹立する意義を考えます。

講師: 藪下 浩氏

(元岐阜市歴史博物館館長)

日時: 2019年1月19日(土)

13:30~15:00(受付13:00~)



申込期間: 12月15日(土)~2019年1月6日(日)

第11回市民講座

「鶺鴒漁を描いた平安時代の土器」

甲府盆地の東部には、室町時代初期に成立した謡曲「鶺鴒」の舞台となった石和川が流れており、徒歩鶺鴒の長い歴史が伝えられています。ここに近接する遺跡から出土した9世紀中頃の土器に描かれた絵画を、鶺鴒漁の描写として読み解きます。

講師: 数野 雅彦氏

(甲府市教育委員会歴史文化財課専門官)

日時: 2019年2月16日(土)

13:30~15:00(受付13:00~)



申込期間: 1月19日(土)~2月3日(日)

第12回市民講座

「鶺鴒はいつからはじまった —古代の鳥から考える—」

現代まで続く鶺鴒はいつ始まったのでしょうか。近年、文献に登場するより前の鶺鴒が、考古学的に検討できるようになってきました。古墳時代の考古遺物に残された絵画や造形から、古代の鶺鴒の姿が浮かんできます。鶺鴒と人との結びつきを時間の流れから探ります。

講師: 賀来 孝代氏

(毛野考古学研究所)

日時: 2019年3月16日(土)

13:30~15:00(受付13:00~)



申込期間: 2月16日(土)~3月3日(日)

*各講座の申し込み期間をご確認のうえ、お申し込みください。

受講料

無料

場所

会議室

定員

30名

(申し込み多数の場合抽選)

申し込み・問い合わせ

講座名、代表者の氏名、郵便番号・住所、電話番号、参加人数(大人・小人を区別)を明記し、Eメール、ファクス、往復はがき(必着)で下記までお申し込みください。直接のお申し込みも可能です。

〈長良川うかいミュージアム〉

〒502-0071 岐阜市長良51番地2

FAX: 058-233-6658 info@ukaimuseum.jp



P 駐車場
67台完備

展示室観覧、ショップ・レストラン利用で
最大90分まで駐車料金無料

【開館時間】

■5月1日~10月15日 - 9:00~19:00(入館締切18:30)

■10月16日~4月30日 - 9:00~17:00(入館締切16:30)

【休館日】

■年末年始(12月29日~1月3日)

■5月1日~10月15日 - 休館日なし(一部指定日除く)

■10月16日~4月30日 - 毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)

指定管理者 JNFうかいミュージアム

〒502-0071 岐阜市長良51番地2

FAX: 058-233-6658 info@ukaimuseum.jp

☎ 058-210-1555
http://ukaimuseum.jp

